

〈目次〉

【診療科・部門紹介】

- ▶▶ 腎臓内科
- ▶▶ 耳鼻咽喉科
- ▶▶ 小児歯科
- ▶▶ 検査部

- ストーマ外来
～人工肛門・人工膀胱を持っている方のための専門外来～
- 医科診療案内
- 錦江湾魚ごよみ
- 病院再開発 鉄骨が建てられ始めました。

理念

鹿児島大学病院は、21世紀に輝くヒューマン・トータルケア病院の構築を目指し、医療人の育成及び医学・歯学の研究の充実と発展に貢献すると共に、常に患者さん本位の原点に立った、質の高い医療を提供します。

基本方針

1. 患者さんの権利を尊重し、安心して安全な納得のいく治療を心がけます。
2. 質の高い医療、先進的医療の充実を図り、地域の中核的医療機関として貢献します。
3. 教育・研修病院として、地域の医療機関との連携を図り、人間性豊かな使命感にあふれる医療人を育成します。
4. 診療を通じてわが国の医学・歯学の研究を推進し、医学・歯学及び医療の国際貢献を目指します。
5. 安全で効率の高い病院運営体制を確立します。

患者さんの権利と責務

〈患者さんの権利〉

1. 良質な医療を公平に受ける権利
2. 人としての尊厳を尊重される権利
3. プライバシーや個人情報が保護される権利
4. 自分の状態や診療内容について説明と情報提供を受ける権利
5. 自分の意思で医療を選択する権利

〈患者さんの責務〉

1. 自分の健康状態についてできる限り正確な情報を提供する責務
2. 当院の規則を守り、迷惑行為を慎む責務
3. 診療費を速やかに支払う責務

成人の8人に1人が該当する 慢性腎臓病

成人の8人に1人が該当する、慢性腎臓病(CKD)という言葉をご存じでしょうか？ 2002年に米国腎臓財団がその概念を提唱してから10年がたちました。その間、日本では2007年にCKD診療ガイド、2009年にCKD診療ガイドラインが作成され、今年CKD診療ガイド2012が作成されました。

慢性腎臓病はなぜ重要かといいますと、腎機能障害によって血液透析などが必要になる末期腎不全になるだけでなく、末期腎不全になるよりもっと前の段階から、腎臓が悪いことが心臓や脳血管障害にとって重要な危険因子になっていることがわかったからです。

慢性腎臓病の原因としては、糖尿病、高血圧、糸球体腎炎などが挙げられますが、原因によっては対策が異なってきますし、進行を食い止めるためには早めに対処する必要があります。

検診結果で血清Cr(クレアチニン)が男性で1.1mg/dL、女性で0.8mg/dLの状態では、値としては正常上限のはずなのに、すでに腎機能が若いときの60%くらい(!)まで落ちているので注意が必要です。尿蛋白や尿潜血が陽性の場合も含め、まずはかかりつけの先生にご相談下さい。そして必要に応じて当院に紹介して頂いて下さい。糸球体腎炎は早めなら完治が望める治療もありますし、その他の原因でも、できるだけ腎臓や体を長持ちさせることができるようにしたいと私たちは考えています。

腎臓内科

機能温存を目指した 外科手術

咽喉・喉頭(のど)には、声を出す、ものを飲み込むなど生活に欠かせない重要な役割があります。のどにできる癌の治療は、これらの機能を残しながら癌を治さなければなりません。以前は機能を温存するために放射線治療を行ったり、周囲の器官と癌を合併切除し、一部の機能を犠牲にするという手術を行ったりしていましたが、最近では医療機器の発達により首の皮膚を切らずに口の中から癌を切除する方法ができました。このような手術を「経口的腫瘍切除術」といいます。当科では2011年からこの手術を導入し、消化器内科、消化器外科などと協力しながら診療を行っています。この手術のメリットは、口の中から手術をすることにより、癌の周囲の組織を残しのどの働きをできるかぎり残すとともに、体への負担を少なくすることにあります。体への負担が少ないことから術後の回復も早く、手術直後から声を出すことができますし、数日で食事もとれるようになり、放射線治療と比較して入院期間も非常に短くなります。

耳鼻咽喉科



消化器内科との合同手術の様子



経口的腫瘍切除術の様子

障がい児(者)の歯科的支援

小児歯科

小児歯科では、①子どもや障がい児(者)のむし歯治療、②歯並びやかみ合わせの早期治療、③口唇口蓋裂患者への支援、④摂食・嚥下機能障害への支援などを行っています。特に力を入れている分野の一つが、障がい児(者)の口腔健康管理です。

当科では、月曜日と水曜日の午後、木曜日の午前中を障がい児(者) 歯科のための専門外来とし、先天的または後天的な障がいのために、通常の歯科治療を受けることが難しい方の口腔ケアと治療を行っています。

障がい児(者) 歯科の専門外来では、診察・治療を安全に行うため、複数の歯科医師と衛生士、看護師が協力して一人の患者を担当する「グループ診療制」をとっています。また、診察・治療の際は、障がいの特徴や発達段階を考慮した上で、絵カード(写真)や笑気吸入鎮静法を用いるなど、それぞれの状況に合わせて対応しています。

なお、外来での診察・治療が困難な場合は、静脈内鎮静下や全身麻酔下で歯科治療を行っています。

障がい児(者)の口腔ケア、治療に関するご相談がありましたら、遠慮なくご連絡ください。

〈初診受付〉月～金(8:30～16:00)

TEL 099-275-6630

標準化された質の高い検査を御提供する努力を
～ISO15189を取得しました!!～

検査部

皆さん、こんにちは。鹿児島大学病院・検査部です。

皆様は、検査部がどのような仕事をしているか御存じでしょうか。その内容は、大きくいいますと『みなさんの体の情報(声)を様々な機械を使って読み取り、目に見える形で表わすようにすること』です。その際には体に直接機械を当てたり、血液や尿など体内の一部を取り出したりして体の声を読み取っています。その情報を基に、先生方始め医療スタッフは状態を把握し、治療やケアを行っていくことになります。よってそれら情報は正確でなくてはなりません。また刻一刻と状況が変わる中で迅速性も求められます。

そこで我々検査部は、より質の高い検査を御提供するためにISO15189という認定を今年3月に取得いたしました。ISOとはInternational Organization for Standardizationの略で(日本語では国際標準化機構と訳されます)現在世界約140カ国が加盟する機構であり、ISO15189とはISOが作成した臨床検査室の品質と能力に関する国際規格(世界規模の共通基準)です。その規格に合格するには、技術的部分はもちろん、より質の高い検査部であるために自らの品質を管理することも必要とされています。今回の取得を機に、患者様はじめ医療スタッフの皆様にもより満足していただける検査部を、部員一丸となって目指していこうと思っております。



認定証 (ISO15189)

ストーマ 外来

人工肛門・人工膀胱を
持っている方のための
専門外来

ストーマ外来では、赤ちゃんから大人まで幅広い年代のストーマを保有する方々の、日常生活のお悩みごとの相談に応じています。

当院には、ストーマケアの専門の資格を有する看護師（皮膚・排泄ケア認定看護師）が3名おり、他の看護師と共にストーマのトラブルが発生した時の対応だけでなく、毎日の暮らしを安心して送っていただくためのアドバイスや、患者会をご紹介し、お仲間作りの支援なども行っています。どうぞお気軽にご相談ください。

（皮膚・排泄ケア認定看護師 武垂希子）

●日常生活でのお悩みごとの例●

皮膚のただれや
かゆみが続く

パウチが頻繁に
外れる

お風呂、温泉に入る時の
工夫を知りたい

安心して外出、
旅行を楽しみたい

装具が外れないか
心配で出かけるのが
怖くて……。

同じストーマをつけて
いる人と話してみたい

臭いパウチの
膨らみが気になる

ストーマの生活は
気持ちが落ち込む



〈ストーマ外来の風景〉



私たちがご相談に応じます。

暮らしのためのミニ知識

右の図の表示のあるトイレには、ストーマ専用トイレが設置してあります。デパート、公共施設、駅、空港、高速道路に設置されており、外出時も安心して利用できます。



【お問い合わせ先】

事前に電話予約が必要です。初診日は診療科によって異なりますのでご確認ください。また、受診の際は、**紹介状**と**普段お使いの道具一式**をご持参下さい。

人工肛門の方 ▶

消化器外科外来(初診日:月・水)
TEL 099-275-5803

人工膀胱の方 ▶

泌尿器科外来(初診日:月・金)
TEL 099-275-5806

〈医科〉診療案内

※初診受付時間／8:30～11:00 ※診療時間／8:30～17:00

※休日／土曜日・日曜日・祝祭日・年末年始(12月29日～1月3日)

※診療日の詳細について、鹿児島大学のホームページで最新の情報を紹介しております。

(<http://com4.kufm.kagoshima-u.ac.jp/>)

※初診の方で紹介状をお持ちでない場合は、保険外併用療養費(初診時負担金)として3,150円が必要です。

平成24年7月現在

診療センター	診療部門科	電話番号	階	初診日	再診日	初診予約制
循環器センター	心臓血管内科	5731	2	月・火・木・金	月～金	①
	心臓血管外科	5815	3	火・木	月～金(指定外来・予約制)	②
消化器センター	消化器内科	5731	2	月・木	月・水・木・金	①
	消化器外科 (I)	5803	3	月・水	月・水	②
	消化器外科 (II)	5815	3	火・木	火・木	②
脳・神経センター	神経内科	5731	2	水・金	月～金	②
	脳神経外科	5828	3	火・木・金	火・木・金	③
呼吸器・ストレスケアセンター	呼吸器内科	5731	2	月・水・金	月・水・木・金	①
	呼吸器外科	5803	3		水	②
		5815		火・水・木	月・火・木	
心身医療科	5731	2	月・木(午前)	火・水・金(午前)	②	
腎臓・泌尿器センター	腎臓内科	5731	2	月・木・金	月・水・木・金	①
	泌尿器科	5860	3	月・金	月・火・木・金(水は指定外来・予約限定)	①
血液・内分泌・糖尿病センター	血液・膠原病内科	5731	2	月～金	月～金	①
	糖尿病・内分泌内科	5731	2	月～金:糖尿病内科 火・金:内分泌内科	月～金	②
	乳腺・内分泌外科	5803	3	月～金:乳腺外科 月・水:内分泌外科	月・水	②
メンタルケアセンター	神経科精神科	5776	3	月・水・木・金	月・水・木・金	①
小児診療センター	小児科	5787	2	月:神経、一般外来(術前) 火:神経、内分泌 水:循環器 木:膠原病 金:血液・腫瘍、腎臓 総合外来(術前)	月～金(午前のみ)	①
	小児外科	5900	3	月・火・水・木・金	火・木	①
女性診療センター	産科、婦人科	5888	3	火・木	月・水・金(午前)	①
整形・運動機能センター	整形外科・リウマチ外科	5840	2	月・水(午前)	月・火(午前)・水(午後:予約制) 月:脊椎・腫瘍疾患 火:関節疾患 水:側弯外来	③
感覚器センター	皮膚科	5850	3	月・火・金	月・火・金	①
	眼科	5865	2	月:網膜硝子体、ぶどう膜炎、角膜、神経	月:網膜硝子体、ぶどう膜炎、角膜、神経	①
				火:涙道、黄斑変性	火:黄斑変性、神経、涙道	
				水:網膜硝子体、緑内障、ぶどう膜炎、角膜、神経	水:網膜硝子体、緑内障、ぶどう膜炎、角膜	
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	5870	3	月・火・水・木・金	火・木(予約制)	①	
放射線診療センター	放射線科	5880	2	月～金 (部門により、外来は初診・再診どちらも曜日指定あり)	月～金	②
麻酔全身管理センター	麻酔科	5885	3	月・木・金 火(術前診察のみ)	月・木・金 火(術前診察のみ)	①

(↑ 099-275- ×××× で直接電話できます。)

初診予約の説明

予約制欄の番号の診療科	①	②	③
予約がない場合の対応	予約と紹介状のない場合は、原則として本院での受付を行わず、地域の医療機関での受診をお願いすることになります。	予約と紹介状のない場合でも、受付を行います。 (※なるべく初診予約の取得をお願いします。)	
予約の申込先	初診予約の担当部門は、医務課(外来予約担当)になります。 予約の取得に関することは、こちらへお問い合わせ下さい。 ●TEL: 099-275-5168 ●FAX: 099-275-6698 ※紹介患者予約申込書は、本院ホームページに掲載しています。 http://com4.kufm.kagoshima-u.ac.jp/renkei/index.html		予約の取得に関することは、こちらへお問い合わせ下さい。 ●脳神経外科 TEL: 099-275-5828 ●整形外科 TEL: 099-275-5840
初診予約の方法	①初診については、地域の医療機関から本院へ、FAXにて予約の申し込みをしていただきます。 本院からは地域の医療機関への予約報告書と患者さん用の予約票を送付いたしますので、患者さんは予約票をお受取下さい。 ②患者さんは予約の日時の20分前までに、紹介状と予約票と保険証等を持参し、本院2階初診受付の窓口へお越し頂き受付し、本院での診療を受けて頂きます。		
再診予約の方法	・再診の予約の取得及び変更は、各診療科外来で行います。予約後は予約票をお受け取り下さい。 ・血液検査やレントゲン撮影が予約されたときは、来院時間等について各診療科で指示を受けて下さい。 ・心臓血管内科、消化器内科、腎臓内科、小児科、皮膚科、耳鼻咽喉科、麻酔科、呼吸器内科、血液膠原病内科、眼科、神経科精神科は、予約のない場合は原則として本院での受付を行わず、地域の医療機関での受診をお願いすることになります。		

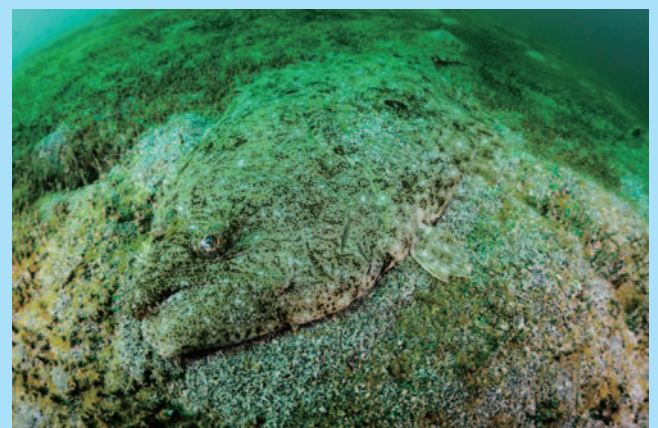
※「女性専用外来」、「セカンドオピニオン」も予約制です。 ◎女性専用外来: TEL 099-275-5970 ◎セカンドオピニオン: TEL 099-275-5168

魚の「人生」

秋も深まったある日、沖小島の海底で、巨大なヒラメに出会いました。いつも持ち歩いている 1m の折りたたみ定規を当てて見ると、驚いたことに 10cm あまり足りません。体重は 15kg 程あるのではないのでしょうか。頭は岩のようにゴツゴツとし、尾鰭はまるで団扇のような大きさです。さすがにここまで大きくなると肝が据わっています。定規を当てようが、カメラを触れんばかりに近づけても全く動じません。ついでに美味しそうな「えんがわ」にも触れてみましたが、大きな眼球をぐるりと動かしてこちらを睨みつけるだけです。80cm を超えるヒラメは全て雌らしいので、この個体もきっと雌なのでしょう。

彼女はいったい何年錦江湾に暮らしているのでしょうか。これまで知られている最高齢のヒラメは 18 歳程度と推測されています。そのヒラメは 80cm 程と、彼女よりずっと小さいので、もしかすると彼女は 20 歳をとうに超えている可能性もあります。私が錦江湾に潜り始めた 20 数年前、彼女は錦江湾に生を受けたのかもかもしれません。あるいは何処かの海底でまだ幼い彼女に出会ったこともあったかもしれません。改めて彼女の体を見てみると、背鰭や尾鰭が所々欠けたような古傷があります。下顎はゆがみ、どうやら骨も変形しているようです。若い頃に釣り人の針から逃れたのでしょうか。

海底に横たわって静かに息をする、巨大なヒラメ。私の 20 年にも色々なことがありましたが、彼女が過ごしてきた時間にはどんな出来事があったのでしょうか。



海底に横たわる巨大なヒラメ。カメラを触れるほどに近付けても全く動じない。

TOPICS

病院 再開発

現在の建物は築後30年以上が経過しているため、病院内施設の充実、患者さんの療養環境改善を目的に、平成19年度から建物の増築・改修を行っています。ご不便をおかけいたしますが、ご協力をお願いします。

鉄骨が建てられ始めました。

新病棟の工事が順調に進んでおり、完成まで残り1年を切って、鉄骨を建てる工程に入りました。鉄骨の組立作業は2ヶ月ほどで終わる予定なので、この原稿が掲載される頃には、すべての鉄骨が建てられていることと思います。



▶ 広報誌編集部会からのお知らせ

鹿児島大学病院の診療内容、病気について的一般知識など知りたいことがありましたら、お知らせください。

また、「桜ヶ丘だより」への皆様方からのご意見・ご感想をお待ちしております。

鹿児島大学病院広報誌 桜ヶ丘だより〈27号〉

2012(平成24)年10月発行

発行／鹿児島大学医学部・歯学部附属病院広報委員会広報誌編集部会

〒890-8520 鹿児島市桜ヶ丘8丁目35番1号 TEL 099-275-6692

【鹿児島大学病院ホームページアドレス】

<http://com4.kufm.kagoshima-u.ac.jp/>